

はちきゅう

日语专业八级 考试对策

审订：(日)松尾 真澄 (日)山田 花尾里

主编：桂 玉植 林 岚 关 冰冰

外语教学与研究出版社
北京

图书在版编目(CIP)数据

日语专业八级考试对策 / 桂玉植等主编. —北京:外语教学与研究出版社, 2005.3

ISBN 7-5600-4750-5

I. 日… II. 桂… III. 日语—高等学校—水平考试—自学参考资料
IV. H360.42

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2005)第 029658 号

出版人: 李朋义

责任编辑: 杜红坡

封面设计: 彭山

出版发行: 外语教学与研究出版社

社址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网址: <http://www.fltrp.com>

印刷: 北京市鑫霸印务有限公司

开本: 850×1168 1/32

印张: 13 插页: 2 张

版次: 2005 年 7 月第 1 版 2005 年 7 月第 1 次印刷

书号: ISBN 7-5600-4750-5

定价: 19.90 元

* * *

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

编者：

桂 玉植 (日) 松尾 真澄

林 岚 (日) 山田 花尾里

关 冰冰 (日) 石河 旭

まえがき

中国の「教育部高等学校外语专业教学指导委员会日语组」によって、2002年度から中国大学日本語専攻四級・八級試験が実施されることになった。しかし、各大学の使用教材の不統一によって、各大学日本語専攻が実際に使っている教材は、『高等院校日语专业高年级阶段教学大纲』に要求されている中国の大学日本語専攻高学年段階における慣用句・語彙などが全部カバーできていないのも実情である。ということで、本書は中国大学日本語専攻の学生たちが『高等院校日语专业高年级阶段教学大纲』が求めている基本的な文型や慣用句・語彙などをものと系統的に学習・復習・練習するのに役立つ目的で編集されたものである。本書の基本的方針・目的・構成などは次の通りである。

本書の基本的方針と目的：

- 一、本書は中国の『高等院校日语专业高年级阶段教学大纲』の中の基本的文法・基本的文型・慣用句・難解語彙などの日本語知識をもっと確実なものとし、「日本語専攻八級試験」の事前訓練を目標としている。
- 二、具体的な編集に当たっては「日本語専攻八級試験」と同形式・同レベルの八級模擬試験問題を作り、それを

通じて学生たちの受験能力を高めることを目標としている。

三、文字・語彙・文法などの八級模擬試験問題は原則として『高等院校日语专业高年级阶段教学大纲』の中に出ているものに限る。

四、聴解・読解・文語文・文学史・翻訳の練習問題も「日本語専攻八級試験」と同レベルのものを作成している。

本書の基本的な構成：

一、「高年级阶段常见语法功能词」の例解と説明

二、「日语专业八级考试模拟试题」(各十セット)

(试卷一) 大学日本語専攻生八級能力試験問題
(聴解問題)

(试卷二) 大学日本語専攻生八級能力試験問題
(総合問題)

(试卷三) 大学日本語専攻生八級能力試験問題
(翻訳問題)

三、作文篇 (一) 作文の書き方

(二) 八級試験作文参考テーマ

四、「日语专业八级考试模拟试题」の正解

具体的な分担：

「高年级阶段常见语法功能词」の例解と説明は主に桂玉植が編集し、聴解問題の部分は山田花尾里、総合問題の部分は松尾真澄、文語文・文学史の部分は林嵐、翻訳部分は関氷氷、作文の部分は石河旭が担当しており、文責はそれぞれの担当者に負ってもらうことになる。

そして、出版社側の薛豹先生、張溥先生のご協力とご信頼がなければこの本の出版もあり得なかったと思い、ここに合わせてお礼を申し上げます。できるだけミスがないように尽力したものの、レベルの関係で不適當なものがきつとあると思うので、同人たちのご容赦をお願い致す次第である。

目 次

一、日语专业高年级阶段常见语法功能词例解	1
(一) 起助词作用的语法功能词	1
(二) 起助动词作用的语法功能词	41
(三) 文言文剩余用法	59
二、日语专业八级考试模拟试题	63
(试卷一) 大学日本語専攻生八級能力試験問題 (聴解問題)	63
(试卷二) 大学日本語専攻生八級能力試験問題 (総合問題)	152
(试卷三) 大学日本語専攻生八級能力試験問題 (翻訳問題)	360
三、作文篇	378
(一) 作文的写作方法	378
(二) 八级作文参考题目	395
四、日语专业八级考试模拟试题参考答案	396
参考文献	407
附：文语活用表	

一、日语专业高年级阶段常见语法功能词例解

(一) 起助词作用的语法功能词

1. 表示资格、立场、状态、观点

～をもって:

普通「自信・確信」など抽象的な意味の名詞を用いて、「それを伴って」という意味を表す。

- ①もっと自信をもってがんばらないと相手に負けますよ。
- ②もっと精神的な余裕をもって暮らさないと疲れてしまうでしょう。
- ③「彼女を絶対に幸せにする」という確信をもって結婚したのに、何でこうなったんだろう。

～でもって:

①話を追加したり、発展させたりするときに用いる。②「そのうえ、それで」という意味で、くだけた会話で使う。

- ①彼女は美人である。でもってスポーツも万能と聞いている。
- ②田村さんは仕事もばりばり。でもって料理もうまいのよ。
- ③「木村さんは家出しちゃったのよ。」「でもって、それからどうなったの？」

2. 表示対象、相关

~につき:

「~について」の改まった言い方。

- ①昨日の理事会において、本部の移転問題につき審議が行われた。
- ②A 国の B 国への武力行使問題につき、各国の代表から厳しい批判が浴びせられた。
- ③あの件につきましては、後ほど木村社長にお話していただきます。

~に関して:

「~について」のやや改まった言い方。

- ①あの事件に関しては、後ほど警部から詳しい説明があると思います。
- ②コンピュータに関する知識は兄の方が私より豊富である。
- ③あの教授は長年、地質に関する研究をなさってきた。

Nをめぐって／Nをめぐり:

「Nがどうなのか」と、多くの人が議論したり、話し合ったりする時に使う言い方。後続動詞には「論議する、議論を戦わす、討論する、紛糾する、噂が流れる」などのようなものが使われる。「Nをめぐり」は書き言葉によく使われる。

- ①憲法改正をめぐって国会で激しい論議が行われた。

- ②あのスターの離婚問題をめぐってさまざまな憶測が乱れ飛んでいる。
- ③父の遺産をめぐっての争いはますますひどくなってきた。
- ④政治献金をめぐる疑惑がマスコミに大きく取り上げられている。

* 「Nをめぐって」は「～について」「～に関して」と同じ意味であるが、「Nをめぐって」は後続動詞に制限があるため、「～について」「～に関して」と取り替えない場合が多い。

例えば：

- ①彼女は日本の経済について（に関して○ をめぐって×）研究している。
- ②社長は本社の経営方針について（をめぐって×）詳しい説明をなされた。
- ③今日は7月4日に起きた事件をめぐって（について○）みんなに討論してもらいたい。

（注：「○」は正しい言い方、「×」は正しくない言い方、「△」は文法的には正しいが、普段あまり使わない言い方を表す。）

～にかけては：

「その事に関して」という意味。後ろに人の技術や能力などに関して何らかの評価を述べる表現が続くことが多い。

- ①この学年において、英会話にかけては彼の右に出る者はいない。
- ②料理にかけてはうちの母は誰にも負けないだろう。
- ③あの男は誠実な人であるが、商売にかけての才能はどうかと思われる。
- ④忍耐力にかけては誰にも負けない自信がある。

~にかけても:

慣用句的な表現で、「命・名誉・信用・面目」など人の生存や価値を社会的に保障するものを表す名詞が用いられて、「何がなんでも絶対に」と強い決意を表すのに用いられる。

- ①父の名にかけてもこの事件の謎を解かして見せます。
- ②命にかけてもあなたを守り抜きます。
- ③会社の名誉にかけてもその約束を守ります。

3. 表示動作、中介、手段、根据、原因

~をもって:

「~によって」という意味。話し言葉としては公式の場、書き言葉としては書類などに用いるかたい表現。

- ①以上をもって私の歓迎の辞とさせていただきます。
- ②以上をもってご推薦と致します。
- ③この書類をもって、証明書と見なすつもりです。

～でもって:

手段や方法を表すもので、よく話し言葉で使われる。

- ①言葉だけでなく、実際の行動でもって誠意を示したらいいかなの？
- ②何でもお金でもって解決しようという考え方は間違っているのよ。
- ③あなたの言葉はもう信じられない。行動でもって示しなさい。

～を通して:

人や物事、動作を表す名詞などを受け、「それを仲立ちや手段にして」という意味を表す。それによって知識や経験などを得ることを述べるのに使う。

- ①私たち夫婦は私の中学校時代の友達を通して知り合ったのです。
- ②現在はテレビを通して、世界各国の出来事その日に分かることができる。
- ③教師は学生たちに教えることを通して、逆に学生から教わることも多い。
- ④今回のことを通して、家族の大切さをしみじみ感じました。

～を通じて:

「～経由して」という意味。何かを経由して情報を伝えたり関係ができたりするということを述べる時に使う。

- ①このことは木村さんを通じて分かったのです。

- ② 友達の紹介を通じて、あの会社に就職することができた。
- ③ 現地のレポーターのレポートを通じて分かったことですが、今回の地震で死者が何百人も出たとのこと。

*** 「～を通じて」は情報・話・連絡などが伝わる時に使われるもので、交通手段には使えない。**

例えば：

- ① この列車は天津を通過して（経由して○ 通じて×）北京まで行く。

～にして：

① 「そこに至って」という意味の段階。② 「Nでありながらなおかつ」という意味の並立などを述べたりする時に使われる。

- ① 40 にしてようやく子宝に恵まれた。
- ② 30 にしてやっと結婚することができた。
- ③ あの方は企業家にして優秀な科学者でもある。
- ④ 大学の教師にして、本当の学問とはなんたるかも知らないの？

Nにつき：

名詞を受けて「その理由で」という意味。改まった手紙文などによく用いられる。

- ① 本店の改装につき、勝手ながらしばらくお休みさせていただきます。
- ② 父は高齢につき、海外での講演は遠慮させていただきます。

- ③勝手ながら、体の不調につき、一週間ほどの休暇お願い申し上げたいのですが、いかがでしょうか。

4. 表示時間、場所、状態

～(の)おりに／～(の)おりから：

「時・機会・時節」などの意味を表す改まった言い方。普通、手紙文によく使われる。ただし、気候などの場合は普通穏やかでないことをまず述べてから、相手を気遣う言葉をその後に続ける。

- ①いつか北京にいらっしゃるおりには、ぜひご連絡ください。
お迎えに参りますので。
- ②先週お借りした本は今度先生のお宅にお伺いするおりにお返し致します。
- ③残暑の続くおりから、お体にはくれぐれもお気をつけください。
- ④冷え込みの厳しいおりから、お風邪を召されませんようにお気をつけください。

～につけて：

慣用的な固定した表現で、「どんな場合でも」「何かのきっかけがあるたびに」という意味を表す。「見る・思う・考える」などの動詞につく場合には、後ろには「思い・後悔」など、感情や嗜好に関する内容が続く。

- ①あの人は何かにつけ私のことを好ましく思わないタイプだ。

- ②あの夫婦は何かにつけ、口げんかばかりしている。
- ③この写真を見るにつけ、中学生時代のことが懐かしくなる。
- ④彼女と別れたことを思い出すにつけ、後悔の念にさいなまれる。

～にして:

特定の名詞や副詞について、事柄の状況などを述べたりする時に使われる。

- ①兄は先日交通事故に遭ったが、幸いにして大事にいたらずに助かった。
- ②火事のため彼は一瞬にして家を失ってしまった。
- ③娘は生まれながらにして体の弱い子供だった。

5. 表示起点、終点、範囲

～からして:

判断の手掛かりを表す言い方。

- ①彼女の言い方からして、私が悪いようじゃない。
- ②あの口ぶりからして、彼は引き下がる気は全くないようだ。
- ③主人の性格からして、そんなことで妥協するはずがない。

～をはじめ:

中心的なものからより広い範囲にまで及んで言うことを表す。

- ①今回の日本語教育シンポジウムには北京大学をはじめ、

各大学から有名な学者たちが参加するそうです。

- ②今回の寄付活動には、学長をはじめ大学の教師や学生たちもみなふるって参加している。
- ③田中先生をはじめ、みなさまにもよろしくお伝えください。

～にわたって：

期間、回数、場所の範囲などを表す語について、その規模が大きい様子を表す。後ろに「行う・続ける・訪れる」などの動詞を伴うことが多い。書き言葉的なかたい文体で使われる。

- ①あの教授は10年にわたって、ずっと河川水質汚染の調査を続けてきた。
- ②首相はヨーロッパからアメリカ大陸まで8カ国にわたって訪問し、経済協力問題について相談し合った。
- ③今回の会議は7月4日から2週間にわたって行われる予定だそうだ。

6. 表示基準、界限

～をもって／～をもちまして：

時間や状況を告げる会などを終わらせるのに用いる。正式な挨拶の場などに使われる。

- ①本日をもって今回のシンポジウムを閉会させていただきます。
- ②ただ今をもちまして受付を締め切らせていただきます。